

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2019-131609 (P2019-131609A)

【公開日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【年通号数】公開・登録公報 2019-032

【出願番号】特願 2019-77828 (P2019-77828)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 K 31/527 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/68 (2017.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/527

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/68

A 6 1 K 51/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/395 L

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 27 日 (2019.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

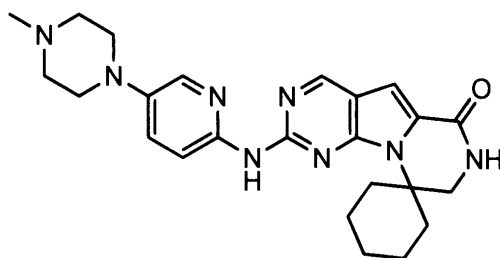
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトにおける癌の治療のための医薬組成物であって、
前記癌が、網膜芽細胞腫 (R b) タンパク質ポジティブであり、かつ、乳癌、結腸癌、
卵巣癌、非小細胞性肺癌、前立腺癌及びグリア芽細胞腫からなる群より選択され、
前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、
前記化合物が、

【化 1】



又はその薬理学的に許容される塩である、前記医薬組成物。

【請求項 2】

前記癌が乳癌である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記癌が結腸癌である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記癌が卵巣癌である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記癌が非小細胞性肺癌である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記癌がグリア芽細胞腫である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記癌が前立腺癌である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記化合物が他の化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

。

【請求項 9】

前記化学療法剤が m T O R 阻害剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記化学療法剤が P I 3 キナーゼ阻害剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記化学療法剤がデュアル m T O R - P I 3 K 阻害剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記化学療法剤が M E K 阻害剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記化学療法剤が R A S 阻害剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記化学療法剤が A L K 阻害剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記化学療法剤が H S P 阻害剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記化学療法剤がレトロゾールである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

前記化学療法剤がカペシタビンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記化学療法剤がタモキシフェンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

前記化学療法剤がピクチリシブである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記化学療法剤がブパルリシブである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 1】

前記化学療法剤がエベロリムスである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

前記化学療法剤がゴセレリンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

前記化学療法剤がアナストロゾールである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

前記化学療法剤がドキソルビシンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 5】

前記化学療法剤がパクリタキセルである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 6】

前記化学療法剤がプレドニソンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

前記化学療法剤がドセタキセルである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 8】

前記化学療法剤がミトキサントロンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 9】

前記化学療法剤がピカルタミドである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 0】

前記化学療法剤がフルタミドである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 1】

前記化学療法剤がニルタミドである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

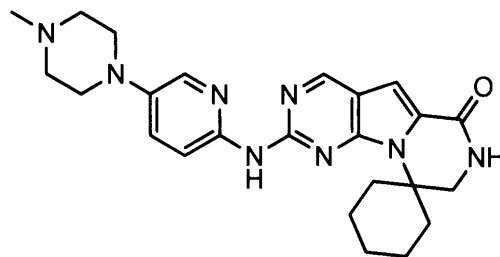
【請求項 3 2】

ヒトにおける網膜芽細胞腫 (R b) タンパク質ポジティブ乳癌の治療のための医薬組成物であって、

前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、

前記化合物が、

【化 2】



又はその薬理学的に許容される塩である、前記医薬組成物。

【請求項 3 3】

前記化合物が化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項 3 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 4】

前記化学療法剤が m T O R 阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 5】

前記化学療法剤が P I 3 キナーゼ阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 6】

前記化学療法剤がデュアル m T O R - P I 3 K 阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 7】

前記化学療法剤が M E K 阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 8】

前記化学療法剤が R A S 阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 39】

前記化学療法剤が A L K 阻害剤である、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 40】

前記化学療法剤が H S P 阻害剤である、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 41】

前記化学療法剤がレトロゾールである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 42】

前記化学療法剤がカペシタビンである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 43】

前記化学療法剤がタモキシフェンである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 44】

前記化学療法剤がピクチリシブである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 45】

前記化学療法剤がブパルリシブである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 46】

前記化学療法剤がエベロリムスである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 47】

前記化学療法剤がゴセレリンである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 48】

前記化学療法剤がアナストロゾールである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 49】

前記化学療法剤がドキソルビシンである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 50】

前記化学療法剤がパクリタキセルである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 51】

前記化学療法剤がヒト上皮生長因子レセプタ 2 (H E R - 2) をターゲットにするモノクローナル抗体である、請求項 33 に記載の医薬組成物。

【請求項 52】

前記モノクローナル抗体がトラスツズマブである、請求項 51 に記載の医薬組成物。

【請求項 53】

前記モノクローナル抗体が化学療法剤に結合されている、請求項 51 に記載の医薬組成物。

【請求項 54】

前記結合されたモノクローナル抗体がアドトラスツズマブエムタンシンである、請求項 53 に記載の医薬組成物。

【請求項 55】

前記乳癌がエストロゲン受容体ポジティブである、請求項 33 に記載の医薬組成物。

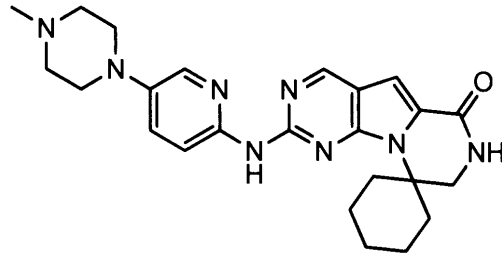
【請求項 56】

ヒトにおける網膜芽細胞腫 (R b) タンパク質ポジティブ前立腺癌の治療のための医薬組成物であって、

前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、

前記化合物が、

【化 3】



又はその薬理学的に許容される塩である、前記医薬組成物。

【請求項 57】

前記化合物が化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項 56 に記載の医薬組成物。

【請求項 58】

前記化学療法剤がプレドニソンである、請求項 57 に記載の医薬組成物。

【請求項 59】

前記化学療法剤がドセタキセルである、請求項 57 に記載の医薬組成物。

【請求項 60】

前記化学療法剤がミトキサントロンである、請求項 57 に記載の医薬組成物。

【請求項 61】

前記化学療法剤がピカルタミドである、請求項 57 に記載の医薬組成物。

【請求項 62】

前記化学療法剤がフルタミドである、請求項 57 に記載の医薬組成物。

【請求項 63】

前記化学療法剤がニルタミドである、請求項 57 に記載の医薬組成物。

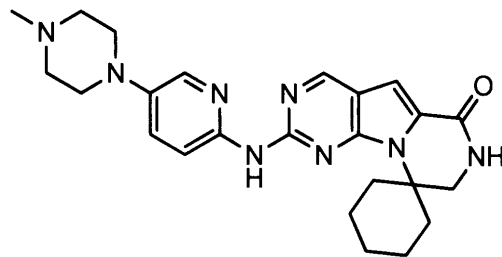
【請求項 64】

ヒトにおける網膜芽細胞腫（Rb）タンパク質ポジティブ乳癌の治療のための医薬組成物であって、

前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、

前記化合物が、

【化 4】



又はその薬理学的に許容される塩であり、

前記医薬組成物が、連続する 28 日以上の間、1 日に少なくとも 1 回、前記ヒトに投与される、前記医薬組成物。

【請求項 65】

前記医薬組成物が少なくとも 1 種の他の化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項 64 に記載の医薬組成物。

【請求項 66】

前記乳癌が、エストロゲン受容体ポジティブである、請求項 64 に記載の医薬組成物。

【請求項 67】

前記医薬組成物が、連続する 35 日以上の間、1 日に少なくとも 1 回、投与される、請求項 64 に記載の医薬組成物。

【請求項 68】

前記他の化学療法剤が、タモキシフェン、レトロゾール、アナストロゾール、トレミフェン、及びトラスツズマブから選択される、請求項 6 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 6 9】

前記他の化学療法剤がタモキシフェンである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 0】

前記他の化学療法剤がレトロゾールである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 1】

前記他の化学療法剤がアナストロゾールである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 2】

前記他の化学療法剤がトレミフェンである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 3】

前記他の化学療法剤がトラスツズマブである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 4】

前記医薬組成物が、1 日に 1 回、投与される、請求項 6 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 5】

前記 R b ポジティブ乳癌が、エストロゲン受容体ポジティブであって H E R 2 ネガティブである進行型乳癌である、請求項 6 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 6】

前記 R b ポジティブ乳癌が、H E R 2 ポジティブ乳癌である、請求項 6 4 に記載の医薬組成物。